

## バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】瀬棚町バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km <sup>2</sup> )
1	2005.2.10			北海道	瀬棚町	2,745	125.69
構想の要約		有機農業特区における株式会社の農業経営、日本初の洋上風力発電の取組が進められている地域。町の基幹産業である農林水産業から発生する家畜排せつ物、水産加工残さなどを活用したバイオガス発電を行い、地域のハウス栽培に利用するといった取組を進める。将来には、バイオマス利用を教育や観光資源としても生かすことを目指す。					
構想に盛り込まれた事業		バイオマスプラント建設					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス						
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス			資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど			資源作物	
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部				
食品廃棄物		間伐材・林地残材				
廃食用油		果樹剪定枝				
水産加工残さ	○	竹材				
製材工場等残材		その他( )				
建設発生木材						
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草						
古紙・廃棄紙						
下水汚泥など						
その他( )						

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	s
飼料化	○	直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他( )		炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	
		バイオディーゼル燃料化	
		バイオエタノール化	
		その他( )	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

## バイオマス利活用目標

(バイオマスタウン構想書からコピー)

### (1) 利活用目標

本構想は、牛ふん尿1.12万トン／年以上、水産加工残さ419トンの新規利用等により町内廃棄物系バイオマスの90%以上の利活用を目指すものであり、そのバイオマス発電の新エネルギーにより、将来的に地域分散型のエネルギー供給システムを構築することを目的としている。バイオマス処理に伴う最終残渣(液肥)等は、町内等の農業事業者からのニーズが多いことから、処理上の問題はないと考えている

## バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)

概要図なし

## 実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)